

県立図書館通信

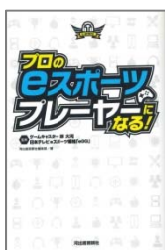
夏休み号
R元.7.2 発行



もうすぐ夏休みですね。みなさんは、何をして過ごしますか。本を借りて、図書館やお家などで読書しながら、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。

佐賀県立図書館の本の中から、高校生におすすめの本を紹介します。

新しく入った本



「プロのeスポーツ プレイヤーになる！」

岸 大河/監修

河出書房新社/発行

青資料コード 120946280

最近、日本でも耳にする「eスポーツ」。ゲーム内容に関わらず、コンピュータゲームで他の人と競い合い、楽しむことです。国際大会も開催され、将来的に、オリンピック競技になるのではといわれています。その世界で活躍しプロとなるための心構えや方法を知るために必要な1冊です。



「説明がつかない現象と 私が生徒会に入った説明」

葵 日向子/著

木爾 千レン/著

狐塚 冬里/著

西東社/発行

資料コード 120946884

入学式の写真撮影をしていると、ファインダー越しに見慣れない制服をきた女子を見かけて……。一つの高校を舞台にした、生徒会と8つの部活を巡るストーリー。それぞれのおはなしが少しずつリンクして、ミステリーを紐解いていきます。



「18歳のアトム」

手塚 治虫/原作

黒田 征太郎 / 絵・原案

稲葉 茂勝/文

今人舎/発行

資料コード 116030818

こどもの頃、手塚治虫の鉄腕アトムを見て影響を受けたイラストレーターとしても活躍する黒田氏が描く18歳になったアトムの姿とは……。手塚治虫没後30年を記念して出版されました。英訳付。



「アップルと月の光と テイラーの選択」

中浜 ひびき/著

竹内 零江/訳

小学館/発行

資料コード 116021148

父を交通事故で亡くした少女テイラーは、強盗に襲われ危篤状態になってしまいました。そこに、精霊ジョイが現れ、2つの人生のうち、どちらかを選ぶように言われてしまい……。16歳の著者が描いたファンタジー小説です。



平和について考えてみよう



8月15日は、終戦記念日です。終戦後、日本では平和なときが続いていますが、世界ではテロなどが相次いでいます。この機会に、戦争や平和についてじっくり考えてみませんか？



「せかいでいちばんつよい国」 テビッド・マッキー / 作 なかがわ ちひろ/訳 光村教育図書/発行 資料コード 120538673

大きな国の大統領は、自分の国が一番素敵で他の国の人も同じ想いをしてほしいと次々と他国を征服し、残りは一番小さな国だけになりました。小さな国には兵隊はおらず、ついに戦うことなく、その国を離れるのですが……。幸せとは、平和とは何か、絵本ですが心に響く作品です。



「君たちには話そう」

いしい ゆみ/著 くもん出版/発行 資料コード 120765185

太平洋戦争が始まる4年前、陸軍の秘密の研究所「登戸研究所」が作られました。どんなに資料を探しても見つからず、当時研究所で働いていた人たちもかたく口を閉ざしています。「大人には話したくない」といっていた人々が、今後の平和のため高校生に語りかけます。



「刻む 佐賀・戦時下の記録」

佐賀新聞社/編 佐賀新聞社/発行 資料コード 115621050

戦後70年を迎え、戦争を体験した人が少なくなりつつあります。佐賀新聞に記憶を風化させないため、佐賀新聞に掲載された75歳から100歳までの70人の戦争体験をまとめています。



「いのちは贈りもの」 フランシーヌ・クリストフ/著 河野 万里子/訳 岩崎書店/発行 資料コード 120876651

ナチスによるユダヤ人迫害(ホロコースト)を6歳から12歳まで経験したユダヤ人少女の物語です。収容所で皮膚炎や赤痢などに罹患し、いかに過酷な状況だったのか想像できます。未来へ語り継ぐ1冊です。

■編集■ 佐賀県立図書館 企画課 図書館ネットワーク担当 (0952-24-2900)

◎この通信はHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<https://www.tosyo-saga.jp/>

問い合わせはこちらまで